

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

横浜市がイスラエル国、チュニジア共和国の ホストタウンとして登録されました！

横浜市は平成28年1月に、英国のホストタウンとして、市民と英国オリンピック選手との交流をはじめとしたスポーツ、文化、教育分野などにおける幅広い交流機会を作っていくことを決定しています。

イスラエル国は、平成24年に、テルアビブ-ヤッフォ市との間で共に成長するため交流と協力を深めていく「共同声明」を行ったことを契機として、同国と文化や経済分野で連携してきました。

また、チュニジア共和国とは、平成20年の第4回、25年の第5回アフリカ開発会議の横浜開催を契機に、相互理解促進や文化紹介などで交流を深めてきました。

こうしてこれまで積み重ねてきた関係を基盤として、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機にさらに交流を発展させていくことを目指し、両国とのホストタウン登録を申請していたところ、**本日4月27日に正式に登録が認められました。**

【本市のイスラエル、チュニジアとの交流計画の概要】

- (1) 各国オリンピック選手等との交流
各国大使館と連携し、学校や福祉施設の訪問等による市民との交流を実施
- (2) 各国関係者との交流
大使館と連携し、国際イベントにおけるブース出展等を通じて各国の文化を紹介
- (3) オリンピアン・パラリンピアンとの交流
 - ア 小学校等へのオリンピアン・パラリンピアンへの派遣
 - イ パラリンピック競技普及に向けたパラリンピック競技体験会の開催

(参考) イスラエル、チュニジアとの最近の交流実績

- イスラエルで開催された国際会議(シティズ・サミット)に招待され、横浜市の施策を紹介(27～29年)
- チュニジア大使館から白幡小学校(神奈川区)へ手織りじゅうたん・オリーブの木を寄贈(29年3月)

【林市長のコメント】

これまで横浜市が両国と重ねてきた交流の実績を評価いただき、イスラエルとチュニジアをホストタウンとしてお迎えすることになりました。市を挙げておもてなしするとともに、選手や関係者の皆様との交流、文化の紹介などを通じて相互理解を深め、両国との絆を一層深めてまいります。

お問合せ先

(イスラエル、チュニジアとの交流に関すること)

国際局国際連携課アフリカ開発会議担当課長 後藤 勝 TEL:045-671-4714

(ホストタウンの申請、登録に関すること)

市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当課長 田中礼子 TEL:045-671-4585